

新型コロナウイルス（COVID-19）の流行下における教会の役割に関する声明 －愛、揺るぎなさ、希望、勇気－

2020年6月3日
世界教会協議会（WCC）常議員会

しかし、あらゆる恵みの源である神、すなわち、キリスト・イエスを通してあなたがたを永遠の栄光へと招いてくださった神御自身が、しばらくの間苦しんだあなたがたを完全な者とし、強め、力づけ、揺らぐことがないようにしてください。（第一ペトロ 5:10）

恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。

たじろぐな、わたしはあなたの神。

勢いを与えてあなたを助け

わたしの救いの右の手であなたを支える。（イザヤ 41:10）

新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的流行による直接的、間接的な影響は深刻で、地球規模であり、前例のないものです。わずか5ヶ月の間にウイルスは世界中に拡散し、216の国と地域にまで広がりました。これによって、これまでに600万件を超える感染が公式に確認され、多くの医療従事者その他の最前線で働いている人々を含む379,000人以上が死亡しています。

最悪の影響を受けた国々の公共衛生システムは限界を超えており、その他多くの健康状態に不安を抱える人々にとって必要不可欠な医療サービスへのアクセスが危うくなり、定期予防接種の実施が中断され、豊かな国でも貧しい国でも、推定8,000万人の子どもたちがジフテリア、麻疹、ポリオなどの病気のリスクに晒されています。世界中の学生人口の70パーセントに当たる約12億人の学生たちは、教育機関の閉鎖によって教育機会が中断されています。さらに、閉鎖、都市封鎖（ロックダウン）、隔離措置によって、女性たちや子どもたちに対する家庭内暴力や虐待の発生が急激に増加しています。

経済状況は不景気に陥り、失業率は記録的レベルに達しています。世界中で膨大な数の人々の生活が危うくなり、食糧不安は増大し、すでに貧困に苦しんでいる国々やコミュニティでの生活はさらに不安定なものとなっています。水、衛生、水管理システムはウイル

スの感染を防ぐために不可欠ですが、世界中の何十億もの人々が安全な飲料水、衛生サービス、さらには手を洗うための基本的設備にさえアクセスできないほどの世界的な危機的状況において、このたびの感染の大流行が起っています。

このたびの世界的流行は、健康、教育、所得に同時に影響を与えるため、グローバルな人間開発における全面的な逆転を引き起こしたり、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた進展を大幅に混乱させたりすることが予想されます。その間、エルサルバドルにおける最近の熱帯性暴風雨、東アフリカにおけるイナゴによる疫病、カメルーンにおける紛争といった自然災害や人為的災害、その他すでに世界を悩ませている数多くの課題が続いていますが、十分な注意が払われていませんし、対応能力は低下しています。

世界中の人々やコミュニティの日常生活は根本的な変化を経験しています。身体的距離の保持（フィジカル・ディスタンシング）は、礼拝や宗教的儀式を含む、多くの状況における人間のかかわり方を作り直しました。キリスト教の教会暦で最も聖なる日であるレントやイースターの時期でさえ、多くの教会共同体は何ヶ月も集まることができませんでした。

ウイルスの大流行は広い範囲に及び、世界的に影響を与えているという点において、ある意味では平等でしたが、それはまた、私たちの社会における根深い分断、不正義、経済的不平等、レイシズム（人種差別、民族差別）を露呈させ、悪化させてもいます。ウイルスは国境も、富も、社会的地位も考慮することなく、すべての人々に直接的、間接的な影響を及ぼしています。しかし、慢性疾患に苦しむ人々、高齢者、貧しい人々、人種的マイノリティ、先住民、障害を持っている人々、移民、避難民、そして社会の周縁で生きているすべての人々など、ウイルスは最も弱くされた人々をことさら脅かしているのです。

教会と信仰共同体は、もっとも弱くされた人々や共同体に同伴し、互いに連帯するように神から招かれています。私たちの主イエス・キリストは、気遣い、ケア、思いやりがあらゆる境界を超えということ、彼の人生、教え、行動をもって私たちに示しました。危機と恐れと分断の時期にあって、社会の変革のために希望と癒しをもたらすことがキリスト者としての私たちの使命です。

当面の間、大人数で礼拝に集うことはできないかもしれませんが、「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである」（マタイ 18:20）というイエスの言葉を私たちは覚えています。また、公衆衛生上の儀礼によって要

求される小規模の集まりにおいても、私たちの主が臨み、働いていて下さることを私たちは知っています。教会の歴史においては何度も、キリスト者たちは小さなグループでのみ集まることを強いられましたが、それでも福音と告げ広げ、信仰を守り続けることができました。だから私たちも、この時においても礼拝と証しを続けることができるのです。

このたびの感染の大流行において、教会と専門の省庁は地域コミュニティに奉仕し、困っている人々に同伴して支援し、直面する諸課題を克服するために、支援者たちや周縁化された人々と協力しました。世界各地の教会間のパートナーシップがいかに強められたか、このような状況の中で著しい困難に苦しんでいる人々を支えるために、諸教会がいかに努力しているかを経験しました。身体的に集まることができなくとも、礼拝し、証しするための方法を見つけていく教会の創造性から私たちは触発されてきました。政府や社会のレベルで世界的連帯に対する責任あるかわり（コミットメント）が衰退し、ゼノフォビア（外国人嫌悪）がさらに高まっている中でさえ、共同体と連帯のローカルな絆がいかに育まれ、成長してきたかを私たちは見てきたのです。

公衆衛生システムの組織的な無視、感染の大流行についてのリスクを知っていながらの備えの欠如、搾取的な経済システムにおける強欲、私利私欲の蔓延、環境破壊と生態系の悪化の加速、人類全体に対する共通の脅威に向き合うにあたっての国同士の一致のなさによって、この危機的状況とその影響は悪化しています。

ウイルスの大流行による多面的な世界的危機は、どんなに強い国であっても、いかなる一国の能力をも超えていることは明らかです。国際的な連帯と協力は今、これまで以上に必要とされています。このような協力を進めていくために作られた多国間の組織や施策は、この目的のために不可欠なツールです。それらは、必要に応じて改良され、強化され、もっとも緊急に必要とされる瞬間に阻まれることなく、使用され、支援されるべきです。

多くの国々は現在、新型コロナウイルスの蔓延を防ぐために課された措置を緩和しています。しかし、様々な点で持続可能でなく、不公正で、非人道的であり、家族、コミュニティ、神の被造世界における関係性を損なうようなかつての現状に戻ることができないことは明らかです。そのようなかつての現状が、世界的流行の発生を許し、人類に多大なる代償を払わせることになったのです。

しかしながら、この危機の時から私たちは、関係性は回復されうることや、以前は不可能だと思われていた変革を思い描けること、不公正で持続不可能な常態に対して命を大切にす代替策は可能なのだということを学びました。これは私たちが根本的な価値観を振り返り、それに沿って私たちの家族、社会、経済のあり方の刷新を模索するためには、たとえ辛くとも有益な機会です。私たちはこの経験と反省を活かして、公正で持続可能なコミュニティのための新しくより良いモデルを形作っていかねばなりません。

教会は世の光であり、地の塩であると言われています。「通常」の時代であっても、危機の時代であっても、私たちは神の愛を証しします。私たちは神の愛が揺るぎないものであることを認め、宣言します。不確実性の闇が私たちを取り囲んでいるのかもしれませんが、それでも私たちの神は、私たちと共に立ち、「恐れることはない」と言われます。

復活のキリストと、私たちの生活における聖霊の臨在を知っていますから、私たちはこの世界的流行に向き合い、その先を見据える勇気を見出します。私たちは相互の連帯と責任感をもって、適切な安全対策を守ることによって、私たち自身とお互いを守り続けていきます。私たちは困っているすべての人々、この世界が目に入れないニーズに奉仕することによって、このように不確実な時代においても、キリスト教会であり続けます。私たちはスティグマ（社会的烙印）と差別を退け、癒しをもたらす愛を受け入れます。ウイルスと同じように、愛は境界を知りません。愛はあらゆる障壁を打ち破ります。

一部の地域で、世界的大流行から来る恐れと不確かさが、陰謀論や誤った神学的解釈の温床となっていることを、私たちは残念に思います。あらゆる場所の教会が力づけられ、分断、疑心、根拠のない噂を助長する声に反対し、一致、信頼、真実のメッセンジャーとなるように備えられるように祈ります。私たちは国同士の連帯と協力を奨励します。私たちは公衆衛生を守るのではなく、道徳的信念を持った反対意見を制圧し、人権を侵害するために緊急権限を掌握しようとする政府や当局に異議を唱えます。そして、私たちはより平等で持続可能な未来を構想し、そのために取り組み、正義と平和の巡礼が世界的流行を越えて続いていくことを宣言します。

ペンテコステのこの時、そしてこの重大な時に、私たちはすべての加盟教会、エキュメニカルパートナー、専門省庁、ACT アライアンスを「信者たちは皆一つになって、すべての物を共有」（使徒言行録 2:44）する最初のキリスト教共同体の精神、すなわち、分かち合いと積極的な連帯からなる新しい関係性へと招きます。それは、私たちがこの危機と変化の時代において、神の民により良く仕えていけるようになるためです。私たちの人生の

旅路を、この困難な時代を通して導かれる私たちの主であり、救い主であるイエス・キリストが、私たちに愛と、揺るぎなさと、勇気を与えて下さいますように。

希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるよう。 (ローマ 15:13)

(翻訳：藤原佐和子)